# 学生広報サポーターにょる「わかりやすい」研究紹介

広島市立大学の教員は、国の制度である科学研究費補助金や各種外部資金を毎年積極的に活用して、 先駆的な研究を行っています。その中から4つの研究について学生が取材をするという企画を昨年度実施した ところ、好評をいただきました。そこで、今回も学生が、しかもあえて「他学部」の学生が取材をすることで、その 研究内容をより「わかりやすい」言葉で紹介してもらいました。



「社会規範と市場規範の境界に関する研究:経済実験によるアプローチ」 研究代表者:国際学部准教授·高橋広雅先生



「聴覚障がい者の発声支援のための振動フィードバックシステムの開発」 研究代表者:情報科学研究科教授·石光俊介先生



「公共図書館貸出利用券デザイン制作を通したビジュアルデザインの研究」 研究代表者:芸術学部講師·中村圭先生



「歴史・平和教育と平和博物館論の課題― 「歴史・平和教育プログラム」調査を中心に」 研究代表者:広島平和研究所准教授:河上曉弘先生



# 外部資金等活用状況(2015年度)

K		**をっくる 立大学 ity University
	Hirosnima Ci	ity University

キッズキャンパス2015 旧市民球場跡地上空から撮影

> 丁寧に 一人ひとりを大事に 社会との関わりの中で 学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 TEL:082-830-1500(代) FAX:082-830-1656 http://www.hiroshima-cu.ac.jp

# 木学の教員が外部資金等を活用している研究例を紹介し

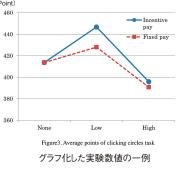
・子の秋	貝//	八山月	並守で泊用している別 九 別で	加力し
す。				
. 科学			前助金 73件 95,30	00千円
ア)基盤研究				(単位:千円)
究代表者(所属・	職名·氏名	)	研究課題名	交付決定額
際学部	教授	青木 信之	多様な大学環境における英語eラーニングー管理される学習から自律的な学習へ-	4,100
際学部	教授	岩井 千秋	「英語を英語で」教える高等学校新指導要領が大学 英語教育に与える影響	1,800
際学部	准教授	田川 玄	グローバル化するアフリカにおける<老いのカ>の 生成と変容一宗教儀礼領域からの接近	2,300
報科学研究科	教授	石光 俊介	発声機能障害者支援システムの小型化実用検討	1,600
報科学研究科	教授	式田 光宏	呼吸器系末梢気道でのその場計測を可能にする カテーテルセンサ技術の開発	3,400
報科学研究科	教授	日浦 慎作	メゾスケール構造を有する物体表面の精確なモデリン グおよび再現	3,700
報科学研究科	教授	増谷 佳孝	拡散MRIを用いた生体構造のマルチスケール推定に よる新しい診断情報の創出	1,700
報科学研究科	准教授	古川 亮	高輝度小型パターン光源を用いた3次元内視鏡の 開発と人体消化器官計測の試み	5,000
術学部	名誉 教授	服部 等作	ヒマラヤをめぐり展開された密教工芸の造形と表現の 研究	2,500
イ)基盤研究	(C) 4	5件		(単位:千円)
究代表者(所属・	職名·氏名	)	研究課題名	交付決定額
際学部	教授	赤星 晋作	アメリカにおける連邦・州・学区の教師の資質向上 方策に関する総合的研究	800
際学部	教授	金谷 信子	準市場・介護保険サービスにおける営利・非営利事業 者比較の実証分析	1,200
際学部	教授	関村 誠	プロティノス美学におけるアイステーシスの位置づけ 一受容と把握の機能をめぐって一	700
際学部	准教授	池田 寛子	18世紀以降のアイルランド文学におけるアイルランド 語の伝統	700

学部	准教授	大場 静村	フランスにおけるブルターニュの再話文学の系譜ー 『バルザス=ブレイス』を中心として	800
<b>禁学部</b>	准教授	倉科 一名	東西緊張緩和を巡るNATOの対立とジョンソン政権	1,300
学部	准教授	高橋 広邪	社会規範と市場規範の境界に関する研究: 経済実験によるアプローチ	1,000
<b>聚学部</b>	准教授	西田 竜七	第二次世界大戦における連合国間の協力と限界	1,000
<b>※学部</b>	准教授	武藤 彩加	複数の言語における「味を表す表現」に関する研究	800
学部	講師	シュラトフ		900
<b>段科学研究科</b>	教授	井上 智生	ディベンダブル・サイバーフィジカルシステムを指向した 組込みLSIの動作合成法	1,300
科学研究科	教授	岩城 争	実世界とPCの両者にアクセス可能なハンズフリーイン タフェース	1,200
科学研究科	教授	北村 俊明	数値計算におけるデータの実用的有効桁数を追跡 する計算機構の開発	500
<b>B科学研究科</b>	教授	高濱 徹行	型数形状のタイプ推定と関数近似を利用した効率的 な制約付き最適化に関する研究	900
科学研究科	教授	林朗	音楽における多声性と階層性を表現できるモデル・ 手法の開発	500
<b>段科学研究科</b>	教授	藤坂 尚盈	量子力学的光・テラヘルツ波受信回路の非線形確率 微分方程式による記述とモデリング	900
科学研究科	教授	松原 行紀	タブレット端末とボータブルな力覚デバイスによる仮想 実験環境と学習支援システム	1,500
段科学研究科	教授	李 仕屋	運転者の注意解析に基づく能動的運転補助システム	1,400
段科学研究科	教授	若林 真-	次世代超高速イーサネットのためのネットワーク侵入検 知ハードウェアに関する研究	800
<b>段科学研究科</b>	准教授	市原 英行	ストカスティックロジック回路のテスト手法と信頼度/演 算精度設計に関する研究	1,300
科学研究科	准教授	井上 博志	視聴者のコンテキストを判断可能な電子看板とその 実時間コンテンツ配信手法	1,300
科学研究科	准教授	岩根 典之	, デジタル教材におけるエージェント型学習支援に関する研究	研究費の 受け入れなし
<b>段科学研究科</b>	准教授	内田 智之	, グラフ文法圧縮データからの省メモリ高速グラフマイ ニング手法の開発	1,100
<b>B科学研究科</b>	准教授	小野 貴商	傷病者の病態と緊急性に応じた救急車の最適搬送 経路	900
<b>B科学研究科</b>	准教授	釘宮 章分	病態計測に用いるアミノ酸分析用マイクロチップの 開発	1,300

# 境界をさがせ!

~お金なのか、ボランティアなのか?~

「市場規範か、社会規範 460 か、その境目になる線を見つ けたい」。グラフを指しなが ら、聞き慣れない言葉で始 まったインタビューは、研究 の最終地点を示していまし た。「市場規範」と「社会規 範」というのは、ざっくばらん に言うと、前者がお金を必



要とする取引、後者がお金を必要としない、ボランティアのような取 引のことです。これらの規範には、基本的には両立することができ ず、また分野によって向き不向きが分かれるなどの法則があります。 例えば「献血」。今でこそ無償で血液を提供するという社会規範と して成り立っていますが、かつては売血といって、有償で提供する市 場規範の形態をとっていたこともありました。当時は、血液を大量に 集めるのは血液をお金で買う市場規範のほうが向いていると考えら れていたのです。しかし予想とは反対に、質の良い血液が集まりにく く、売血という制度は機能しませんでした。厄介なことに、「どちらの 規範が優れているのか」ということは、取引の「もの」によって変わっ ていくのです。「献血」の例から、社会規範が優れている、と仮説を 立てても、すぐにその反例が出てきてしまい、社会がうまく回らなく なってしまうことがあります。高橋准教授は、さまざまな経済実験を行 い、グラフ化した実験数値から、その変曲点、つまり「規範の分かれ 道」を発見するというアプローチで研究をしているそうです。

# (取材:情報科学部1年・舟山理さん)

情報科学研究科	准教授	小嵜 貴弘	家庭用水道を主動力とする水圧人工筋駆動式パワー アシストの開発	600
情報科学研究科	准教授	末松 伸朗	ガウス過程に基づく確率モデルベース画像処理技術 の新展開	900
情報科学研究科	准教授	双紙 正和	ハッシュ連鎖の柔軟な構成法およびそれを応用した 軽量認証法の研究	1,200
情報科学研究科	准教授	高野 知佐	スペクトル分析と射影追跡法を融合した大規模ユーザ ネットワークの視覚的分析技術	1,100
情報科学研究科	准教授	高橋 賢	ISDB-T地上ディジタルテレビ放送における緊急警報 放送信号の待機受信方法	1,100
情報科学研究科	准教授	田村 慶一	大規模ソーシャル画像データを用いた動向情報の 時空間分析に関する研究	1,400
情報科学研究科	准教授	永山 忍	プログラマブル多次元ディジタル波形信号合成器の 開発とその設計自動化に関する研究	1,100
情報科学研究科	准教授	難波 英嗣	新情報の追加と書き換え技術を用いたサーベイ論文 の自動作成	1,100
情報科学研究科	准教授	三村 和史	構造を持つMAX-XORSATの反復解法の解析	700
情報科学研究科	准教授	宮原 哲浩	強力な表現能力を持つグラフ構造パターンによるグラ フ構造データからの深層知識の発見	1,000
情報科学研究科	講師	小畑 博靖	無線LANネットワークにおける改造端末の検出と制御 を統一的に行う通信品質制御技術	1,100
情報科学研究科	講師	河野 英太郎	有線・無線混在時の無線センサ網向け分散ゲート ウェイと秘密分散FECによる通信方式	800
情報科学研究科	講師	齋藤 夏雄	正標数の閉体上で定義された代数多様体の研究	800
情報科学研究科	助教	川本 佳代	日本を担う人材のコミュニケーションスキル向上をめざ す学習コミュニティの構築	1,000
情報科学研究科	助教	高井 博之	赤外線通信による移動ロボットネットワークのための 時間空間分割型プロトコル	1,300
情報科学研究科	助教	高橋 雄三	腰部の回転運動を抑制しない立位作業補助椅子 開発のための基礎的検討	800
情報科学研究科	助教	中山 仁史	音響的クラスタリングによる骨伝導音の明瞭性改善に 関する研究	1,900
情報科学研究科	助教	目良 和也	発話内容と口調の食い違い検出に基づく話者の心理 状態の推定	800
情報科学研究科	助教	脇田 航	バイラテラル制御による手技工程解析に基づく時系 列触知覚パラメータの抽出	700
広島平和研究所	准教授	河上 曉弘	歴史・平和教育と平和博物館論の課題―「歴史・平和 教育プログラム」調査を中心に	1,300

# もっと笑顔で話せるように ~壁を打ち破るためのツール~

聴覚障がい者の方がコミュニ ケーションをとる際、専用の機械に 表示されるランプを見て自分の声 量を確認することがあります。しか し、機械のランプを凝視しなければ ならず、人間がコミュニケーションを とる際に一番重要視されている 「相手の表情に注意を向けるとい うこと」が難しくなるという欠点があ ります。

また、「自分は適切な声量で話 せているのか」「ちゃんと単語を発

音できているのか」が自分では認識しづらく、コミュニケーションをと ること自体にコンプレックスを感じていらっしゃる方が多いのが現状 です。

そこで石光先生のサウンドデザイン研究室では、発声時の皮膚 や骨の振動を拾うことのできる「骨伝導マイク」で得た情報を元 に、「モーターを搭載した指輪型の装置」を振動させることによっ て、自分自身の発音や声量を振動の強さやパターンで聴覚障がい 者の方に知らせるというシステムを開発しています。このシステムが 完成すれば、聴覚障がい者の方は従来のように機械の表示を見 続けなくてよくなります。そして相手の表情をじっくり見ることができ るため、より自然なコミュニケーションをとることができるようになると 期待されます。

「コミュニケーションに対して聴覚障がい者の方が感じている壁 が、少しでも打ち破れるようなシステムを作りたい」そんな先生や学 生の願いを乗せて、開発が続いています。

ニールドでの一時故障への耐性を重視した非同期式

(取材:国際学部1年・繁本美歩さん)

(ウ)挑戦的萌芽研究 8件

研究代表者(所属・	職名·氏名	i)	研究課題名	交付決定額
国際学部	教授	曾根 幹子	戦前の日伯スポーツ交流が1964年東京五輪の招致 決定に与えた影響	700
国際学部	教授	渡辺 智恵	クローズテストにおける弁別力の高い問題項目及び錯 乱肢作成の指針に関する研究	研究費の 受け入れなし
情報科学研究科	教授	石光 俊介	聴覚障がい者の発声支援のための振動フィードバック システムの開発	800
情報科学研究科	教授	式田 光宏	経皮吸収剤応用を目指した矢尻分離型生分解性マイ クロニードの開発	1,600
情報科学研究科	准教授	岩根 典之	デジタル教材における説明支援に関する研究	1,200
情報科学研究科	助教	稲葉 通将	人狼ゲーム研究:他者中の自己モデルを考えた説得的 人工知能の開発に向けて	1,100
情報科学研究科	助教	小作 敏晴	水飲み鳥の揺動原理に基づく熱機関からの利用可能 な余剰エネルギー回収システムの開発	1,200
	- 11/			
芸術学部	名誉 教授	服部 等作	玉座とその象徴性の基礎研究	1,100
(工)若手研究	教授 (B) 9·	件		(単位:千円
	教授 (B) 9·	件	玉座とその象徴性の基礎研究 研究課題名	(単位:千円
(工)若手研究	教授 (B) 9· 職名·氏名	件		(単位:千円 交付決定額
(エ) <b>若手研究</b> 研究代表者(所属・	教授 (B) 9· 職名·氏名	件 ;) 卜部 匡司	研究課題名 三分岐型から二分岐型への中等学校制度再編に伴う	(単位:千円 交付決定額 500
(工) <b>若手研究</b> 研究代表者(所属・ 国際学部	教授 (B) 9· 職名·氏名 准教授	件 ;) 卜部 匡司	研究課題名 三分岐型から二分岐型への中等学校制度再編に伴う ドイン教育評価制度の変容 ヘドニック二次分析の内生性問題に対する新アプロー	(単位:千円 交付決定額 500
(工)若手研究 研究代表者(所属· 国際学部	教授 (B) 9· 職名·氏名 准教授 准教授	件()	研究課題名 三分岐型から二分岐型への中等学校制度再編に伴うドイン教育評価制度の変容 ペドニック二次分析の内生性問題に対する新アプローチ・原発事故の厚生分析への適用 平和構築における法の多元性に関する研究一治安部	(単位:千円 交付決定額 500 600
(工)若手研究 研究代表者(所属・ 国際学部 国際学部	教授 (B) 9· 職名·氏名 准教授 准教授 講師	件()	研究課題名 三分岐型への中等学校制度再編に伴うドイン教育評価制度の変容 ヘドニック二次分析の内生性問題に対する新アプローチ・原発事故の厚生分析への適用 平和構築における法の多元性に関する研究―治安部 門改構変に支援に着目して 全周囲光源装置と偏光解析を用いた透明物体の三	(単位:千円 交付決定額 500 600 900
(工)若手研究 研究代表者(所属· 国際学部 国際学部 国際学部 情報科学研究科	教授 (B) 9- 職名·氏名 准教授 准教授 進教授	件 ら) ト部 匡司 山根 史博 古澤 嘉朗	研究課題名 三分岐型から二分岐型への中等学校制度再編に伴う ドイツ教育評価制度の変容 ヘドニック二次分析の内生性問題に対する新アプローチ:原発事故の厚生分析への適用 平和構築における法の多元性に関する研究一治安部 門改革(支援)に贈目して 全周囲光源表題に個光解析を用いた透明物体の三次元形状計測 マルチタッチ機能と端末間通信機能を活用したタブレッ	(単位:千円) 交付決定額 500 600 900 500
(工) 若手研究 研究代表者(所属· 国際学部 国際学部 情報科学研究科 情報科学研究科	教授 (B) 9-   職名·氏名 准教授 准教授 准教授 諸師  准教授	件(i) 上部 医司山根 史博古澤 嘉朗 宮崎 大輔 岡本 勝	研究課題名 三分岐型への中等学校制度再編に伴うドイン教育評価制度の変容 ヘドニック二次分析の内生性問題に対する新アプローチ原発事故の厚生分析への適用 平和構築における法の多元性に関する研究―治安部 門均等で支援)に増目して 全周囲光源装置と偏光解析を用いた透明物体の三次元形状計測 マルチッチ機能と端末間通信機能を活用したタブレット用仮想理科実験環境 特異性をもつ方程式に対する超高性能数値解法の開	1,100 (単位:千円 交付決定額 500 600 900 500 800

# 組み合わせることで新しい可能性が! ~「デザイン」するまでの裏側~

インというと、例えばパソコン に向かってひたすら制作する



例について調べてみたり、現場に出向いてみたりしながら、アイデ アを考えたり練ったりする、その過程も大切なんです」と教えてくだ 今回の研究では、広島市立図書館から、「広島市立大学の学

生に、共通貸出利用券の新しいデザインを制作してほしい」との 依頼を受け、中村先生は研究室の学生たちとデザイン制作を行 いました。デザイン案が採用された川口礼乃さん(芸術学部デザイ ン工芸学科4年)を中心に、学生たちは図書館からの要望の一つ である「ワクワクする図書館」というイメージに合うデザインにする ために、他の図書館の利用券について調べたり、実際に図書館 に行ってみたり、図書館職員にインタビューを行ったりしました。そ して、実際にカウンターでの受け渡しも想定し、デザインの色や配 置を考え、利用者にも図書館職員にも使いやすいデザインにする まで、担当者と打ち合わせを重ね、お互いが納得のいくデザインを 完成させました。その労力と時間は、私の想像をはるかに越えてい

今回、「デザイン」と図書館を組み合わせることで、図書館のイ メージがより明るく、そして「本を借りるだけ」ではないと発信するこ とができたのではないでしょうか?

(取材:情報科学部2年・中野美登里さん)

(オ)新学術領	域研究	1件			(単位:
研究代表者(所属・	職名·氏名	i)		研究課題名	交付決
情報科学研究科	教授	鷹野	優	分子シミュレーションによる生体活性サイトの構造・機 能相関の解明とデザイン	10
(カ)研究活動	スタート	支援	1件		(単位:
(力)研究活動 研究代表者(所属			1件	研究課題名	(単位:

基盤研究: 1人または複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 挑戦的萌芽研究: 1人または複数の研究者で組織して行う独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設定を 掲げた芽生え期の研究

若 手 研 究:39歳以下の研究者が1人で行う研究 新 学 術 領 域 研 究: 我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな領域の研究 研究活動スタート支援:研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰する研究者等が1人で行う

# 9 巫红四岁(40日士叶片)

2. 安託	付けう	<b>元</b> (10月	J木時点) 17件 42,167
担当教員(所属·職	名·氏名)		研究課題名
情報科学研究科	教授	石光 俊介	船舶を対象とした新騒音規制対策のための適応騒音 制御装置の開発
情報科学研究科	教授	鷹野 優	電位センサータンパク質群の動作機構の解明に向け た計算科学アプローチ
情報科学研究科	教授	増谷 佳孝	医用画像における画像解析と形状モデリングの融合
情報科学研究科	教授	石光 俊介	オーディオ環境における僅かな音質差の客観的検出 手法の開発
情報科学研究科	教授	竹澤 寿幸	精神的価値が成長する感性イノベーション拠点
情報科学研究科	教授	田中 宏和	高信頼多機能ウェアラブル・バイタルサインセンサ共通 化・標準化に関する研究
情報科学研究科	准教授	難波 英嗣	訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング 技術の研究開発
情報科学研究科	教授	田中 宏和	Smart-BAN評価方式の研究
情報科学研究科	准教授	田村 慶一原 章	次世代8K高精細フラットパネルの高歩留まり製造を 実現する欠陥検査システムの実用化開発

# より良い平和教育と平和行政を目指して ~展示物の選び方と生かされ方にスポットを当てて~

いて、戦争の「被害展示」と 「加害展示」、そして「平和創 造」に関する展示をどのよう に組み合わせることが平和に ついて深く考えることに役立 つでしょうか。例えばこのよう な「平和博物館のあり方」に ついて、河上准教授らは憲

携しながら研究をしています。



法学や歴史学や社会学などの観点などから、さまざまな研究者と連

また、平和教育の「マンネリ化」についても関心を向けています。 最近の平和教育を受けた子どもたちの中には、戦争の悲惨さにつ いての話だけを聞くと、「戦争下の日本ではなく平和な今の日本に 生まれて良かった」との感想を漏らすこともあるとされます。河上准 教授は、「それでは恒久平和を考える上で何も解決しない」として、 根本的な問題として「なぜ戦争が起きるのか」「なぜ核兵器は無く ならないのか」、そして「それらを無くすにはどうしたらよいのか」といっ たことを自分で考えることに役立つ教育とはどういうものか、そのた めの平和博物館の役割についても研究をしています。 この研究には、得られた成果を題材に、専門家を呼んでシンポジ

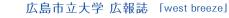
ウムを開催するなどして、教育関係者や行政関係者、市民、そして これからの時代を担う学生などに、より良い平和教育や平和行政 への理解を促すことも含まれています。そして、この研究を通じて得 られた成果が、今後、平和教育や平和博物館の展示に活用される ことを目指しています。

(取材:情報科学部3年・木村優也さん)

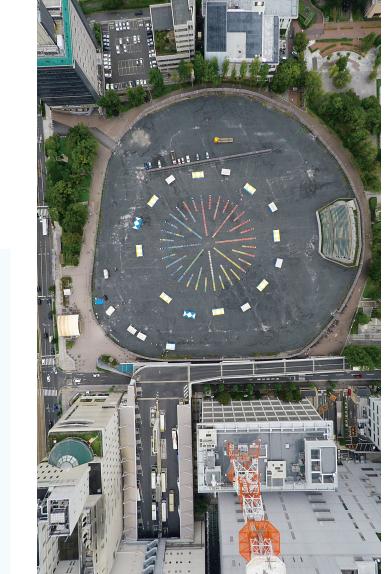
芸術学部	教授	南 昌伸	「安の花田植」のロゴデザイン及び飾り牛の造形研究	322
芸術学部	講師	中村 圭	公共図書館貸出利用券デザイン制作を通したビジュア ルデザインの研究	108
芸術学部	講師	藤江 竜太郎	「ひろしまドリミネーション2015」への企画・提案	983
芸術学部	教授	鰕澤 達夫	コーポレートブランドの企画・デザイン	120
芸術学部	教授	笠原 浩	お好み焼きショートムービー制作に係る研究	1,070
芸術学部	教授	吉田 幸弘	広島市被爆70周年記念事業 猿猴橋復元のための モデリングデーターの作成及びデザイン監修	939
芸術学部	教授	吉田 幸弘	「ヒロシマにさわろう〜手でさわる平和記念公園の 制作〜」に係る触察展示物に関する研究	2,681
芸術学部	教授	南昌伸	大学と行政との協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等を通じた、基町住宅地区の魅力づくりや活性	3,240

# 3. 共同研究(10月末時点) 9件 5,107千円

担当教員(所属·職	名·氏名)		研究課題名	契約額
情報科学研究科	教授	石光 俊介	音声認識技術を利用したヒトの異常事態発生音声 (転倒音、うめき声・苦しむ声・助けを求める声・いびき 音等)の検知に関する研究	1,080
情報科学研究科	教授	石田 賢治	同一無線LANアクセスポイント(AP)複数SSID (Service Set ID)の構成検討及び利用者動向の 調査	205
情報科学研究科	教授	式田 光宏	生活習慣病等に関係する生体情報を無侵襲・低侵襲 で日常的にモニタリングできるセンサとデバイスの開発 (究極のウエアラブルシステムの開発)	485
情報科学研究科	教授	若林 真一 北村 俊明 弘中 哲夫	FPGA等を用いたCAEモデル高速化および制御高度化技術の研究	2,592
情報科学研究科	教授	石田 賢治	広島市立大学無線LAN設備による公衆サービス提供 実証実験	205
情報科学研究科	教授	北村 俊明	ベクトルプロセッサによるアクセラレータの研究	540
情報科学研究科	講師	谷口 和弘	広島発高齢者見守り支援システム開発	研究費の 受け入れなし
情報科学研究科	講師	谷口 和弘	内視鏡外科手術用カメラロボットの研究	研究費の 受け入れなし
情報科学研究科	教授	石光 俊介	心理・生理的手法によるサウンドデザインに関する 研究	研究費の 受け入れなし









▼ おめでとうございます

8月開催)の参加者に選抜。

2年の市本貴宏さんが「優秀講演賞」を受賞。

■情報科学部の学生が「IWCIA2014」で受賞

Student Presentation Award」を受賞。

■情報科学研究科の教員が「SCOPE」に採択

ショップ」で受賞

入選。

コンテスト で受賞

賞(大観賞) |を受賞。

大会」で受賞

で受賞

■情報科学部の学生が「セキュリティ・キャンプ全国大会2015」

2015年6月、プログラミング同好会の金森健人さん(情報科学部情

報工学科3年)が「セキュリティ・キャンプ全国大会2015」(2015年

■情報科学研究科の学生が「第20回知能メカトロニクスワーク

2015年7月、情報科学研究科(博士前期課程)システム工学専攻

2015年7月、情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2

年の酒井達弘さんが「IEEE SMC Hiroshima Chapter Best

2015年7月、情報科学研究科の難波英嗣准教授の研究開発課

題が「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE) に採択。

■芸術学研究科の学生らが「第26回臥龍桜日本画大賞展 | で

2015年7月、芸術学研究科(博士後期課程)総合造形芸術専攻1

年の大庭孝文さんが最高賞となる「大賞」を受賞、同1年の浅埜水

貴さんと芸術学部美術学科日本画専攻卒業生の櫻井あすみさんが

■情報科学研究科の学生が「RICOH THETAデベロッパーズ

2015年8月、情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻

1年の石村司さんがアプリケーション部門で「RICOH THETA賞

2015年8月、芸術学部の藁谷実教授が最高賞となる「日本美術院

■情報科学研究科の学生が「日本ソフトウェア科学会第32回

2015年9月、情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻2年

■情報科学研究科の学生らが「第14回情報科学技術フォーラム」

■芸術学部の教員が「再興第100回院展 | で受賞

の横山瑞宣さんが「学生奨励賞」を受賞。

# 文化のプラットフォームとしての「お茶」を伝えたい

2015年8月15日(土)、広島市被爆70周年記念事業として、 「上田宗箇流平和記念公園茶会」が平和記念公園において開 催されました。その実行委員長・総合ディレクターを務めた長 野佳嗣さんにお話を伺いました。

一実行委員長・総合ディレクターになった経緯について教えてください。 上田宗筒流でお茶を習っているのですが、お茶の世界というのは、「創 造的な場」であり、日本文化の書、焼物、花、漆芸、金工などが集まる 「文化のプラットフォーム」なんですね。僕は日頃から表現活動を行って いるので、とても興味が湧いて自分でも一度茶会を催したいなと思って いました。そんな時、広島市が被爆70周年記念事業として文化芸術枠 を設けていることを知り、その内容を見てみると、広島の伝統的な文化 を取り上げた企画が一つもないことに驚いたんです。これはぜひ、広島 の伝統的な文化や工芸を織り交ぜたこれまでにない茶会を開催しよう と決めました。実行委員会を立ち上げて、企画書を作り、上田宗箇流、 広島市立大学、広島市に協力をお願いするところからのスタートでした。 実行委員長として全体を統括しつつ、今回は総合ディレクターとして、 茶会で使用する道具から、人選、演出、会話のテーマといった細部まで 僕がディレクションしています。

## 一さまざまな「広島」を感じられるように工夫したそうですね。



今回茶室や主要な 道具類はすべてこ の茶会のために新 に作りました。通 常、茶の道具を選

ういう作家が作ったのか」などが基準となることが多いです。ただ、そうい う道具はさまざまな専門的な知識がないと理解できないことが多いんで すよね。ですからこの茶会では、「広島の歴史や文化」が、予備知識が なくても理解できるよう工夫しています。例えば、現在の広島市で人が 初めて住んだといわれている「比治山」の土を使用した土器茶碗を制 作してもらったり、抹茶を入れる薬を広島市の伝統工芸である銅蟲の 技術で造ってもらったり(※1)しました。これらは、僕が制作の段階から アイデアを考え、作家の方と相談しながら、デザインを決めていったもの です。このように、使用する道具類はシンプルで明快なストーリーを持つ ように制作しています。

## 一広島市長をはじめ、著名な建築家やカーデザイナーが参加する 「茶会」となりましたね。

茶室は四畳半のため、おもてなしをする家元を含めて4名しか入れませ ん。3名を選ぶ上で、市長には「広島市民の代表」として、ぜひ参加して いただきたいと当初から考えていました。また、一人は「広島から世界へ ものづくりを発信している方」としてマツダのカーデザイナーである前田 育男さん(※2)、もう一人は「都市的な大きな視点で広島を見ることが できる人」として世界で活躍する建築家の隈研吾さん(※3)を招待しま した。隈さんとは面識がなかったんですが、メールを送ったところ快諾して いただきました。コンセプトに共感していただいたんだと思っています。

### 一こだわった点について教えてください。

まず、都市の中心部を露地(茶庭)に見立てるということはこれまでにな い新しい提案です。また茶会の形式は大きく二つあり、一つは四畳半の

芸術学部非常勤助教 長野 佳嗣さん (芸術学部デザイン工芸学科2012年度卒業)

薄暗い中で厳粛な 雰囲気で行われる [private]なもの。 もう一つは、屋外な ど広い空間で大人 数が参加する す。今回は、その相 反する二つを一体



化し、双方の魅力を両立させるというテーマに挑みました。そこで、強力 な照明を用いて、四畳半の四隅に光の柱を演出することで、日の出まで の時間を「private | な空間としました。茶室の中は周囲よりも明るいた め、中に入ると周りの様子が見えづらく、本当に四畳半の中にいるよう な感覚になります。それが、日の出と共に周囲が明るく見えてくる。そうす ると茶会の後半は、茶室の中とその周りに腰掛ける参加者200名が一 体感を感じられるようになります。つまり「public」な空間と「private」な 空間が時間と共に交錯しながら変化していく。そういった仕掛けを準備

## 一市長たちは茶室でどのような話をされていたのですか?

広島の復興は、世界的に見ても類を見ない復興を遂げているが、それ は経済面だけではなく、広島に「文化意識」が根付いていたからではな いかといったことを話されていました。

### 一やってよかったなと思った点は?

新しい試みが多かったので、伝統的な茶会に親しんでいる人の反応は 心配だったのですが、皆さん喜んでいただき、自分の思いが伝わったこ とに安心しました。また、平和記念公園という広島市の最も重要な場所 で広島の歴史や文化を背負った上田宗箇流の茶会が開催できたこと は、これからの広島の文化の復興、発展においてとても意義あること だったと思います。

# 一広島市立大学で学んだことで、今回に生かされたことはありますか?

一番は、物事に対する考え方や、とらえ方だと思います。特に常識化し ている事柄についてまず疑ってみることは、何度も先生から言われまし たね。今回の茶会においては、400年以上続く茶道を扱っていますから、 形式化され、常識になっていることがとても多い世界です。その一つ一 つを新鮮な目で疑って見てみる。そして新しい形につくり上げていくとい うのは、まさに大学で学んだことが生かされていると思います。

# 一最後に後輩へメッセージをお願いします。

やりたいと思った気持ちを大切にして、あまり深く考え過ぎず、まずは行 動してみることが大切だと思います。

(※1)広島市立大学出身で金属造形作家の原田武さんに依頼。

(※2)マツダのグローバルデザインリーダーとして、国内外全車種のデザイン指揮を 取っているカーデザイナー

(※3)近作に、根津美術館、歌舞伎座、ブザンソン芸術文化センターがあり、現在16 カ国で多数のプロジェクトに携わる建築家、東京大学教授。



#### 長野佳嗣(ながの・よしつぐ)

広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科 012年度卒業。専門はグラフィックデザイン 現在は、広島市立大学芸術学部非常勤助 教。また、基町プロジェクト活動拠点「M98」の ド常勤特任教員として現地スタッフも務める。 和記念公園茶会ウェブサイト

# 学生リポート

# 子どもたちと笑顔で ひと夏の思い出づくり

国際学部国際学科1年 瀬川 みなみ

夏の暑さが残る8月29日(土)、「ハーモニー」をテーマとして、旧 広島市民球場跡地で「キッズキャンパス2015」が開かれました。 「キッズキャンパス」は、広島日野自動車株式会社の助成を受け て開催している幼児・児童向けの公開講座で、芸術学部の教員 と学生を中心にプログラム内容を考案しています。今回は、子ども たちとその保護者、合わせて約200人が7色のプラスチック製ダ ンボールに絵を描いたり、切り抜きしたりした作品を並べて、直径 が60メートルもある巨大な花冠形の立体造形作品の共同制作 に挑戦しました。

子どもたちは絵の具やクレパスなどを使って、筆や手足で自然 や動物など思い思いの絵を描いていました。学生たちも子どもた ちの感性を否定することなく、一緒に制作をしたり、絵を褒めたりと 子どもたちが楽しんで絵を描けるような雰囲気を作っていました。

学生たちは、子どもたちにも分かりやすいような口調で説明する ように心がけたり、動物の絵の見本となる図鑑をいくつも用意した り、子どもが扱いにくいカッターが必要な場合には代わりに穴を開 けてあげたりと、子どもたちの制作を手伝っていました。参加した 学生は「子どもたち独特の感性に触れることができ新鮮だった」と 満足そうでした。

開催場所は、昨年度までの市立大学のキャンパスではなく旧 市民球場跡地で、規模も企画内容も異なり不安やプレッシャーが ある中で、何度もミーティングを重ねて、子どもたちに喜んでもらお うと当日まで精一杯準備してきた学生たち。そんな大変な中でも 笑顔で子どもたちの目線やペースに合わせて、丁寧に接する学生 たちに温かさを感じました。子どもたちだけでなく、学生たちにとっ ても、ひと夏の思い出づくりに素敵な機会となったようです。





旧市民球場跡地上空から撮影した様子

# 留学体験記

本学では、2年生以上の学生を対象に、海外の大学または研修 機関での語学研修に対して、旅費や研修費用等を補助する海外 語学研修補助事業を実施しています。毎年、学内公募で選考され た学生が、夏季休業期間中または学年末休業期間中の1カ月程 度、この制度を利用してさまざまな国へ留学しています。

# 英語は自分の視野を広げてくれる

国際学部国際学科2年 小林 友香

私は夏季休業中の1カ月間、オーストラリアのブリスベンに行きました。 語学学校ではレベルごとの少人数授業が行われ、いろいろな国から学 生が集まっていました。クラスにはさまざまな年齢、国籍の学生がいて、 アットホームな雰囲気で授業を受けることができました。

授業では、異なる国籍の人とペアを組んで課題に取り組んだり、ある テーマについてグループで討論したりしました。さらに私のクラスでは辞 書の使用禁止が徹底され、分からないことはその場で先生に聞くという ルールがあり、疑問はすぐに解決できました。このように英語を話す機 会が多くあったため、自分の伝えたいことを英語で伝える力をつけること ができたと思います。

私が今回の語学研修で強く感じたのは、英語は自分の視野を広げ てくれるものだ、ということです。英語を学ぶことで、さまざまな国の人と 交流でき、多様な考え方や文化に触れることができました。英語で自分 の伝えたいことをうまく伝えることができなかったり、相手の言っているこ とを理解できなかったり、悔しさを感じることも多くありました。しかしこの 悔しさが英語を勉強するモチベーションにつながっていきました。

私にとってこの1カ月 間は、初めてのことだら けでした。しかし、知らな いものと出会う楽しみを 何度も経験し、自分を成 長させることができました これからも英語を勉強し 続け、多くの人とコミュ ケーションをとりたいと います。



# 留学生活は発見の連続

私は3週間、カナダのオンタリオ州トロントに行ってきました。

国際学部国際学科3年 三木 知里

語学学校では、レベル別に少人数クラスが編成されており、アット ホームな雰囲気で授業を受けられました。また、イングリッシュ・オンリー・ ポリシーを掲げる学校だったため、常に英語を話す努力を続けられたこ とが良かったです。私のクラスは国籍も豊かで、多くの友人ができました。 友人たちとナイアガラの滝や有名な観光地などを巡り、帰国前日の私 の誕生日には、サプライズパーティーまで開いてもらえました。

学校の先生やホストファミリーは、私が使っていた英語表現が間違っ ていると指摘して直してくれたり、街を歩いているだけでも、そこら中に英 語が表記されていて「あ、これ、こう表現されるんだ」など、初めての留学 生活は発見の連続で、とても勉強になりました。

海外の友達ができたことで、以前より英語を頑張ろうという気持ちが 強くなり、勉強のモチベーションも上がりました。これからも将来のため に、しっかり英語を勉強 していくつもりです。

今回、このような素晴 らしい体験ができるよう 援助してくださった大学 には、本当に感謝してい ます。



# 事例でみる市大の地域貢献

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学 | を建学の基本理念としている本学は、広島市の 公立大学として、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指しています。ここでは、本学の地域貢献活動の事例 の一部を紹介します。



広島日野自動車株式会社の協賛で、幼児・児童を対象とした公 開講座を2005年から開催しています。子どもたちの創造性の育成 と、彼らを取り巻く環境をより良いものにすることを目標に、芸術学部 の教員と学生がプログラムの運営と指導に当たっています。11年目 を迎える今年度は、「ハーモニー」をテーマに旧市民球場跡地で開 催しました。会場の大きさを生かし、参加した幼児・児童が作成した 一つ一つの絵画が集まって大きな一つの花となる作品を制作しまし た(表紙および「学生リポート」参照)。

# 「光の肖像」展

「光の肖像 | 展は、芸術学部美術学科油絵専攻の教員と学 生・卒業生が2004年から取り組んできた研究プロジェクトです。 10回目となる今回は、7月15日(水)から20日(月・祝)まで、JMS アステールプラザで開催しました。「光」には原爆の閃光、絵画が 視覚芸術として成り立つときの光、未来への足取りを照らす光、 の三つの意味が込められています。広島の被爆者やその二世・三 世の肖像を描くこと

本学の学生がアストラムラインのラッピングデザインを行いました。こ

れは、都市景観の向上と広島市安佐動物公園のPRを目的として、広

島高速交通株式会社から本学がデザインの依頼を受け実施したもの

で、芸術学部内で募集を行った結果、大平穂高さん[芸術学研究科

(博士前期課程)造形芸術専攻1年]の作品がグランプリに選ばれま

した。動物園での取材を行い、飼育されている動物(31種類)や足跡

で、風化しつつある 被爆経験と喪われつ つある絵画芸術の 価値と意味を問いか ける、率直で意義深 い展覧会になってい ます。

動物園ラッピングトラム

を配した、明るく楽しいデザインに仕上がりました。



# ひろしまドリミネーション

本学芸術学部では、昨年度に引き続き「平和への想いを発信 するイルミネーション企画」として「ひろしまドリミネーション」の一部 のデザインを行いました。同学部デザイン工芸学科立体造形分野 の学生にアイデアを募り、学内でコンペを行った結果、松葉亮佑さ ん(2年)が平和大橋・西平和大橋の基本コンセプトから着想した 「月の門」と「太陽の門」のデザイン案が採用されました。この作品

まで開催される「ひろ しまドリミネーション 2015」で、NHK広 島放送局前とホテル サンルート広島前の 区画にて展示されま



Engle II-Laure #F15.II.



#### 2015年9月、情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻1年 の奥田涼さん、田中智大さん、山本啓輔さん、情報科学部情報工学 2015年7月、インパクト出版会 科4年の矢萩拓夢さんが、「第6回相磯秀夫杯デザインコンテスト」 広島平和研究所 吉川元 所長 決勝リーグで5位に入賞。

■情報科学研究科の教員が「第43回日本磁気共鳴医学会」で

2015年9月、情報科学研究科の増谷佳孝教授が「優秀論文賞」を 受賞。

■芸術学部の学生が「国際瀧冨士美術賞 | を受賞 2015年10月、芸術学部美術学科日本画専攻4年の中谷彩加さん が「国際瀧冨士美術賞」の優秀賞を受賞し、第36期奨学生に選出。

■芸術学研究科の学生が「第70回新匠工芸会展」で受賞・入選 2015年10月、芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻1年 の平濱あかりさんが「新匠賞」を受賞。なお、同2年の久保田寛子さ んと高瀨安芸さん、同1年の佐藤衣里さんと姫野奈菜子さん、芸術 学部デザイン工芸学科(染織造形)4年の梅田綾香さんが入選。

※学年は受賞当時

# 🕎 市大ニュース

#### ■開学20周年記念事業記録冊子を発刊

本学は開学20周年を迎えた2014年度、さまざまな記念事業を開催 しました。その開催実績を収めた『広島市立大学開学20周年記念 事業記録冊子』を2015年6月に発刊しました。

### ■動物園ラッピングトラムの出発式開催

2015年7月、芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻1年の 大平穂高さんがデザインした動物園ラッピングトラム(愛称:アサズー

ライン)の出発式が、アストラムライン本通駅で行われました。

# ■情報科学部の学生が広島観光親善大使に就任

2015年7月、情報科学部情報工学科3年の坂田奈々子さんが、広 島市の観光や魅力を国内外に向け発信する「2015広島観光親善 大使」に就任しました。

## ■南アフリカ公使とウガンダ大使が本学を訪問

2015年8月、平和記念式典参列のために広島を訪問していた、南 アフリカ共和国駐日全権公使のドリーン・ノシセロ・ムベレ氏とウガン ダ共和国特命全権大使のベティ・グレース・アケチーオクロ氏が、本 学を訪問しました。

# ■国際学部の学生が「ピースナイター2015」に協力

2015年8月6日、国際学部2年の信末航さんと同3年の三木知里さ んが、マツダスタジアムで開催された「ピースナイター2015」に、「と うろう流し」で協力しました。広島東洋カープと阪神タイガース両チー ムの監督・コーチ・選手が平和へのメッセージを書いたとうろうを、試 合前に行われた「とうろう流し委任式」にて、両チームの代表者から

信末さんと三木さん と が預かり、委任式終 了後、「とうろう流し実 行委員会」(広島祭 委員会、広島市中央 部商店街振興組合 連合会)が主催して いる元安川のとうろう

流し会場でとうろうを

流しました。



■カープアカデミー・インターンシップ参加報告会を実施

2015年10月、広島東洋カープ企業インターンシップに参加した酒 井康甫さん(国際学部3年)による報告会を開催しました。酒井さん は、2月から7月まで(うち約1カ月は国内での事前研修)、ドミニカ共 和国のカープアカデミーで日本語教育や情報紙作成などに従事しま した。また、「ドミニカ共和国における野球調査」という研究テーマで、 ドミニカにおける野球コミッショナーらからヒアリング(インタビュー)等 を行いました。

# ★ この本 ~教員の著書紹介~

# 国際学部 柿木伸之 准教授

『パット剝ギトッテシマッタ後の世界へ ─ ヒロシマを想起する思考』

『国際平和とは何か ― 人間の安全を脅かす平和秩序の逆説』 2015年8月、中央公論新社

🔁 教員の人事異動					
区分	氏	名	職名		
退任	高橋	博子	広島平和研究所講師(9月30日付け)		
退職	柳	幸典	芸術学部准教授(10月31日付け)		

# ■ 「W.B.」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 企画·広報委員会

OE-mail: kikaku@office.hiroshima-cu.ac.jp ○Tel: 082-830-1666 ○Fax: 082-830-1656

「W.B.(WEST BREEZE)」のバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹 介」>「大学広報」>「広報誌「WEST BREEZE」」に掲載しています。

広島市立大学広報誌の表紙タイトル「W.B.」(「WEST BREEZE」 の略称)は、広島市立大学のある西風新都にちなんで命名されまし

編集·発行/広島市立大学 企画·広報委員会 発行日/2015年12月1日

# 本学が「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」に採択されました

本学は文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(※)の採択を受け、県内の大学や自治体、企業と連携し「観 光振興による『海の国際文化生活圏』創生に向けた人材育成事業」に取り組みます。本事業では、広島に関する観光関連データベースの構築 と活用、アートプロジェクト等の実施など、観光振興につながる教育研究事業を通じて「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付き、地域の発展に貢 献する人材 |を育成します。 (※)COCは「Center of Community」の略称